

さわらび

- ㊦ かまを大切にする子
- ㊦ らだをきたえる子
- ㊦ なびを楽しむ子



早いもので、今年も残り少なくなり新しい年が近づいてきました。“終わりよければすべてよし”ということわざがあるように、学校では、1年の総まとめを行っています。子どもたちにとっても、今年は、いろいろな活動がありました。心身ともに成長した子どもたちは、今年1年を惜しみつつ、新しい年へ希望と夢を託しています。よい新年になることを願っています。

学校なんて大きらい

「学校なんて大きらい／みんなで命を削るから／先生はもっときらい／弱った心を踏みつけるから」これは、以前、北日本新聞の「天地人」に載った子どもの詩です。記事には、この詩を書いた子が、わずか15歳で自分の命を断ったということが書き加えられていました。また、11月28日の新聞には、県内の中学校において、いじめを苦に14歳の子どもが自らの命を断ったという記事が載せられました。痛ましい限りです。

現在、日本中の学校が、子どもたちがもつ悩みをすくいとることと、その解決に日々苦心しています。また、学校ばかりでなく、家庭で子どもたちに接する保護者の皆さんからの情報も積極的に頂くようにしているところです。

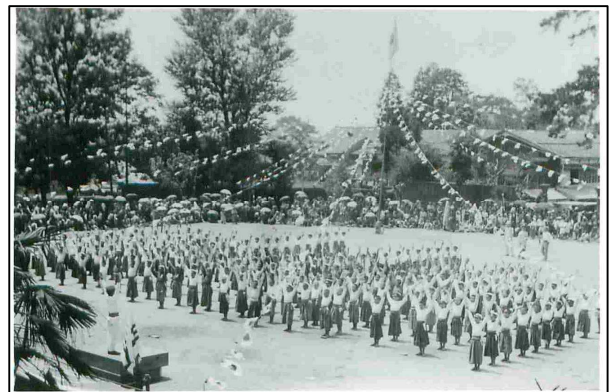
おりしも、今月の4日（日）から10日（土）までは、人権週間です。子どもに人権（権利）を教えることは「子どものわがまを助長する」「子どもを自己中心的にする」等という意見があります。しかし、それは、自分の人権（権利）を自覚することが他人の人権（権利）を尊重することにつながるということを見逃した考えだと思います。私たち大人は子どもたちに自分の人権（権利）に気づく機会をつくってやる必要があります。一方、人権（権利）とともに、どんなに嫌いでも、やらなくてはならないことや、どんなにしたくても、してはいけないことがあることを併せて教えなくてはなりません。それが、「いじめ」等、子どもたちをとりまく問題に対する解決への第1歩ではないでしょうか。

学校では、「いじめ」「基本的な生活習慣」「規範意識」等について、道徳や学級会活動等を通して、子どもたちが自分と向き合って考える時間を設けています。

子どもたちが、「学校大好き、友達大好き、先生大好き」そして、「明日は、何をして遊ぼうかな」と思って、毎日笑顔で登校してくる学校づくりを一人一人の教職員と今日も、話し合っています。

138歳の誕生日（創立記念日 11月15日）

11月15日（火）に、片貝小学校の138歳の誕生日を祝う創立記念式を行いました。6年生が、総合的な学習の時間に調べた片貝小学校の歴史を発表しました。全校で、片貝小学校のよき伝統と片貝っ子としてのつながりを確認し合う時間となりました。片貝小学校は当初、明治6年11月15日に第6大学第9中学校嶋尻学校として出発しました。その後、成隣小学校、山女小学校、東城小学校、島尻小学校などの各小学校が時代とともに各地区にでき、統廃合を経て、昭和27年4月1日の市制実施に伴い、現在の魚津市立片貝小学校になりました。式の終わりには、未来に羽ばたく夢ある子どもたちになるよう全員で誓いました。



〈大正10年 嶋尻学校 大運動会〉

めざす子どもに向けて

なかまを大切にする子

11月1日(火)に、来年度、片貝小学校に入学してくる子どもたちの就学時健康診断が西布施小学校でありました。昨年度から西布施小学校と合同で就学時健康診断を行うようになっていきます。さて、来年度、片貝小学校に入学してくる子どもたちは、6人です。どの子どもも元気いっぱい、はきはした様子がかがえ、来年度の入学式が楽しみになりました。

からだをきたえる子

11月末現在で、全校児童の欠席0(ゼロ)の日が74日となりました。これは、片貝小学校の体と心のバロメーターであり、今後、この記録がますます伸び続けることを祈ります。また、例年、インフルエンザなどにより多くの学校や学級が閉鎖に追い込まれます。これからの冬は、手洗いやうがい、励行が欠かせない季節となります。ご家庭での注意配慮もよろしくお願いたします。

まなびを楽しむ子

今、学校ではよいノートづくりに取り組んでいます。計算や漢字練習、あるいは、課題(国語・算数・社会・理科など)に対して、自分の考えを学習の跡としてきちんと残すことに心掛けています。きちんとしたノートづくりは子どもたちの思考や表現の力をきつと伸ばしてくれるはずで



11月の風景

- 11月2日(水)に、今年度2回目の花とみどり教室がありました。今回は、来年の春に咲くチューリップの球根を植えました。チューリップは、冬の間、ゆっくりと地中の中で根を伸ばし、地中の栄養を吸収できるように頑張る、春に花を咲かせる準備をします。片貝小学校で育つ子どもたちも、チューリップの球根と同様に、今は栄養を吸収する時期です。しっかり、勉強と運動に力を注ぎ、そして、友達同士の絆を結んで健やかに成長し、美しい花を咲かせて欲しいと願います。



花とみどり教室

- 11月5日(土)の午後、公民館活動の一環として、老人介護施設「金さん銀さん」への慰問がありました。片貝小学校の子どもたちも多数参加し、お年寄りとお話しました。公民館の民謡教室に通う子どもたちは、貝殻節などお年寄りがよく知っている民謡を元気よく歌い喜んでくれました。また、ちぎり絵教室に通う子どもたちは、折り紙やゲームで楽しいひとときをお年寄りとお過ごしました。

- 11月12日(土)に、今年度2回目の資源リサイクルがありました。新聞紙、雑誌、アルミ缶、段ボールとたくさんの資源物が集まり、保護者の皆さんや子どもたちとともに次々と回収ボックスに運び入れました。幸いお天気もよく、10時には全部の作業が終わりました。集まった資源物の収益金は、育成会の予算に組み入れ子どもたちの活動に活用されます。地区の皆さん、保護者の皆さん有難うございました。

- 11月22日(火)、小林昭作さんのご好意により、小林さん所有のりんご畑で、りんごの摘果体験をしました。木に実っているりんごを直接もぎ取る体験に、どの子どもも、こぼれんばかりの笑顔を見せていました。この体験は、全校児童67名全員が行いました。また、帰りには、一人一人の子どもたちが、もぎたての美味しいりんごをいただきました。小林さんには、この紙上を借りてお礼を申し上げます。貴重な体験とおいしいりんごを有難うございました。



りんごの摘果体験

- 11月24日(木)、学習参観とともに学校保健委員会がありました。今回は、社団法人 富山県栄養士会所属の栄養士、荒木麗子先生をお招きして「片貝っ子の食について考えよう」のテーマで、お話を聞きました。お話の中で、食事をしっかり摂ることは、その日の活動を充実したものにすることでなく、その後の人生も豊かにしてくれるという内容がありました。また、最近懸念される個食(一人だけで食事をすること)は、子どもの心を育てる上で、あまり好ましくなく、出来れば、家族の人とコミュニケーションをとりながら摂れるような環境が欲しいとも話されました。

※ 北日本新聞
新聞感想文コンクール - 学校賞 -

このコンクールは、新聞に親しみ、思考力や表現力を養うことを目的に実施されています。片貝小学校がこのコンクールの学校賞に選ばれたことに、とても誇らしい気持ちになります。

※ 少年少女童話県大会 - 努力賞 -

先月号でご紹介した少年少女童話大会の魚津市の代表となった澤崎愛菜さん(6年)は、県大会で、努力賞を受賞しました。大変立派な発表に、惜しめない拍手が送られました。